

令和3年度 第2回豊能町教育委員会会議（5月定例会）会議録

日 時： 令和3年5月31日（月） 午前9時30分開会

場 所： 豊能町役場 2階大会議室

出席者：	教育長	森田 雅彦
	教育長職務代理者	宮崎 純光
	教育委員	太田 佳子
	教育委員	川村 新
	教育委員	坂口 敏子
	教育委員	富永 彰一
事務局：	こども未来部長	八木 一史
	こども未来部理事兼教育総務課長	入江 太志
	義務教育課長	吉澤 亘
	こども育成課長	竹内 弘明
	生涯学習課長	寺倉 義浩
	義務教育課主幹兼保幼小中一貫教育推進室長	峯 亜希子
	教育総務課主幹兼保幼小中再編整備室長	千歳 あや乃
	教育総務課課長補佐	住原 聡

傍聴者： 3名

会議次第

○各課・室からの事務連絡

開会：午前9時30分

【議長】

それでは、会議をはじめます。

ただ今の出席委員は5名です。過半数に達しておりますので、ただ今から令和3年度第2回豊能町教育委員会5月定例会を開会いたします
会議録署名人を、宮崎職務代理にお願いいたします。

【議長】

本日は特に議題がございませんので、前回会議以降の各課等の報告をさせていただきます

ます。

順次、報告をお願いします。

【こども未来部長】

4点お伝えいたします。

1点目は、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言下での対応ですが、大阪府及び大阪府教育庁より5月28日（金）夜に通知があり、29日（土）に町新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催しました。所園学校における対応は、ほぼ現在の対応を6月20日まで延長することとなりますが、クラブ活動につきましては、原則禁止ですが、感染予防をしながら工夫して実施することは可能となっています。校外学習や修学旅行につきましては、宣言期間内は控えることとなります。

生涯学習課所管施設につきましては、現在の休館措置を6月20日まで延長することとなります。学校開放と園庭開放も6月20日まで中止を延期します。

2点目は、5月臨時議会が18日（火）に開催されました。新型コロナウイルス感染症対策に係る補正予算が主な案件で、教育委員会関係では、次の予算を上程し全てお認めいただきました。

小中学校に関する予算は、学校事務環境充実事業として校務用パソコンの購入及び5年間の管理費で6,246千円、スクールサポートスタッフ配置事業として、学校内の教室等の消毒作業をサポートするスタッフ配置費用3,120千円。サポートスタッフは、教育委員会で法人に委託する予定です。

所園に関する予算は、感染症予防対策事業としてマスク、消毒液など感染防止用の消耗品購入予算総額150万円、1所園当り50万円。購入は、こども育成課で必要な物品や数量をまとめ、一括して購入する予定です。

生涯学習課につきましては、AI顔認証体温測装置を5施設分で50万円、西公民館美術室空調改修工事65万円、図書館の利用者検索用パソコンと職員業務用パソコンの更新として2,471千円が可決されています。

3点目は、5月27日（木）に、小中学校におきまして、国の全国学力調査、大阪府の学力調査である「すくすくウォッチ」、町の学力調査の「豊能チャレンジ」を実施しました。学年により実施科目が異なりますが、無事に終了しています。詳細はこの後、義務教育課から報告させていただきます。

4点目は、GIGAスクールの進捗状況につきましては、各小中学校児童・生徒に一人1台のタブレットの配置とWi-Fiを整備しました。

既に端末を使用した授業を行っている学校もあります。5月27日には、光風台小学校1年生のタブレットを使用した授業を教育長と見学に行きました。1年生はその日が初めてのタブレットを使用した授業で、「タブレットの使い方」をまず学ぶということで、タブレットを保管庫から安全に持ち出し机の上に置くことから始めました。授業の

はじめに、録画した教育長からのタブレットを使用した授業について児童の皆さんへのメッセージを黒板横のモニターに映したところ、教室の後ろに本物の教育長がいますので、前と後ろを何度も確認していました。

授業では、電源を入れ少し待つとディスプレイ画面が現れると大きな歓声があがり、大変興味を持って先生の話聞き、タブレットの使い方を少し知っている児童は、積極的に他の児童に自ら進んで教えている光景が見られました。GIGA スクールの各校状況につきましては、この後、義務教育学校開校に向けての進捗状況と合わせて義務教育課から報告させていただきます。

【こども未来部理事（教育総務課長）】

豊能地区の3市2町と桃山学院教育大学との連携協定の締結をご報告させていただきます。

3月の議会で、本町と同大学との連携協定の話をしていただきましたが、今回は、教員養成、主に採用選考に係る連携協定を豊能地区と桃山学院教育大学との間で、連携し、提携するものでございます。主な内容としましては、3市2町の教育委員会が実施する教職員の採用選考に関する情報提供及びその周知に関する事。或いは各自治体が発行する教員養成に関する事業に対する大学教員、または3市2町教育委員会の職員の派遣に関する事。教職員を目指す大学の学生の方々の学校教育活動の体験機会等の創出に関する事などが主な内容でございます。6月17日に連携協定の締結を行う予定でございますので、よろしくお願いたします。その際、3月での定例会でご承認いただきました大学と本町との連携協力に関する協定につきましても同じ日に締結させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願をいたします。

【保幼小中再編整備室長】

小中一貫校施設整備の進捗状況について、ご説明をいたします。

今年度予定しております東能勢中学校、第1期改修工事についてですが、大阪府に対し補助金の協議など予算計上に向け作業を現在進めている最中でございます。また、工事内容、工事スケジュールに関しましては、東能勢中学校の教職員全員を対象とした説明会を実施し、事業内容の説明、工事スケジュールの日程等を説明いたしました。教職員の方々からは、現場ならではの質問や疑問等、たくさん出ましたので、今後、西地区も合わせました東地区西地区の小中一貫校の施設整備、基本設計の方に盛り込んでいきたいと考えております。東能勢小学校につきましても、6月2日に全教職員を対象とした、同じような説明の方を開催したいと思っております。東能勢中学校、小学校につきましては、令和3年度工事を予定しておりますので、先行して説明会もやっておりますけれども、西地区の小中学校に関しても、同じく、説明会、概要説明の方を行いまして、意見集約に努めたいと思っております。

【義務教育課長】

八木部長からもお話がありました学力テストの関係と GIGA スクール構想について、お話しさせていただきます。

学力テストは、本日お配りいたしました資料の中にもございますが、豊能町独自の「豊能チャレンジ」、「全国学力調査」、大阪府の今年度初めて実施されました、「すくすくウォッチ」というのを実施しました。

学校の負担のことも考えまして、同日にすべてすることにしましたが、先生方のお話を聞くと、子どもたちがへろへろになってしまった。という意見がありました。今後、実施日を考えていく必要があると思っております。特に小学校5年生、6年生の子どもさんにつきましては、1日ビッシリと詰まっています、そういう経験は中学生になればあるかもしれませんが、小学校で1日中テストをするという機会はほとんどありませんので、かなり子どもたちにも影響があったと聞いておりますので、今後、日程調整させていただかなければならないと思っております。テストの関係ですが、すべて同じ教科をやっているのではなく、「全国学力テスト」、それから大阪府の「すくすくウォッチ」を中心に、教科が重ならないように、子どもたちの負担が少しでも軽減できるようにしております。本来であれば、独自のテストも同じ教科をしていただきたいのですが、今回については、子どもたちの体力面、精神面を考慮しまして、省いております。本日お配りしています「とよのチャレンジの実施について」という保護者の皆様へという資料がありますが、2枚目のところに調査内容というところがあります。こちらをご覧いただきますと、どういう形でテストをしているのかというのが一目瞭然になっております。黒丸につきましては、「とよのチャレンジのテスト」を実施した教科になっております。白丸については「すくすくウォッチ」、星印が「全国学力調査」になっております。これ以外に、「生活調査」というのをしております。6年生の子どもさんにつきましては、「全国学力調査の生活調査」もあり、「とよのチャレンジの生活調査」もあり、内容的にはほぼ同じようなことを聞いています。毎日何時に起きていますかとか、宿題していますかとかを聞いているので、生活、調査の内容についても今後、どういったものがあるのか、同じようなことを聞いても本当にいいのかなどということを考えさせられました。「すくすくウォッチ」につきましては、教科以外に教科横断テストというのがあります、それぞれの教科に関連する一つの課題を、子どもたちに考えさせるということで、順位を競うというよりも、子どもたちの考える力を養うために今回は導入しているという説明がありました。今後、夏休み以降に結果が出るということになりますので、本町が結果が欲しいという期間よりも遅くなってしまいますが、それを精査して学校の方にもお知らせし、また、事務局でも中身を検討して、次回にどうつなげていくか。また、子どもたちにどう返して、学力をつけていくかということを考えていかなければいけないかなと思っております。

続きまして GIGA スクール構想についてですが、先ほども説明がありましたように、各学校にタブレットが配布されました。5月の連休明けにご家庭の方に、子どもたちに使い方こういう形にするんだよというお便りを渡しております。また、各ご家庭の方には子どもさんと一緒にどういう使い方をするかということの同意書を配布させていただきました。それをご家庭で親御さんと子どもさんで確認しながらチェックしてご返答いただいで、使っていただくという手順をとらせていただいております。これは、どの自治体でも同じような形をとっております。タブレットは貸与しているものですから、一年生の子どもさんは卒業するまで、同じタブレットを使うことになるので、大事に使っていただきたいということでの同意書を取らせていただいております。中身の方は、まだ通常のパソコンと同じような機能しかありません。ワード、エクセル等とインターネットに接続、それからカメラ機能、そういったものしか入っていませんが、それを上手に活用して、今できることをそのタブレットを使ってやっていこうということを学校では考えていただいております。とりわけ調べ学習ということでインターネットを使ったり、カメラを使って、校内を回って、題材を探すといったことで活用していくとお願いいただいております。光風台小学校では、1年生の子は、初めてそういうのを使いますから、どのような使い方をするのか、また吉川小学校の方では、課外授業のクラブで、それを活用していただいたという報告を受けております。それぞれやりやすい形で、まずタブレットに慣れ親しむということから入ろうということをお願いいただいております。今後、各授業の中で、タブレットを使ってやっていただくということですが、こちらの方も渡しただけではいけませんので、そのタブレットを使用するにあたって、支援指導員を派遣する形をとっております。まずは、タブレット1台1台に子どもたちの名前のシールを作ってもらって、貼り付けてもらうという作業から入っていただいで、授業展開するにはどういうところで活用できるかという相談等を受けてもらっているところです。また、その支援指導員が授業を見学して、こういったところに活用できますよというアドバイスや指導もしてもらうことになっています。タブレットとか、ICT 機器に不慣れな先生方にも、少しでも活用していただくような指導助言もしてもらえることになっていますので、支援員が週1回学校に入って、そういう支援をしていくという形をとりますので、学校の方も今のところは、あまり相談内容がないというようにおっしゃっているんですが、活用しはじめるとどんどん相談がされるのかなと思っておりますので、活用していただけたらと思っております。タブレットの中身の方ですが、今後、教育支援システムといいまして、子どもと先生とが、繋がるようなソフトを入れる予定になっております。それが入ることによって、もし万が一、休校等になって子どもたちがタブレットを持って帰って学習しないといけない状況になった場合には、それで担任とクラスの子もたちが繋がる形になりますので、そういうものを使って、対応していくことができると思っております。その使い方の研修も夏休みを活用してやっていけたらと思っております。

【保幼小中一貫教育推進室長】

保幼小中一貫教育学校再編に関しまして、簡単にご報告とご説明をさせていただきます。

学校再編等に関する教職員説明会につきましては、東能勢小学校、東能勢中学校、ふたば園での説明会をしました。内容については、「豊能町の目指す保幼小中一貫教育について」、「小中学校の学校再編について」、「東地区小中一貫校について」の3つです。資料1が説明会で使用した資料になっておりますので、後ほどお読みください。また、西地区につきましては、これから各学校園所を訪問して説明会を行う予定です。

続きまして、資料2についてです。資料2は、「豊能町保幼小中一貫教育の構想」を表す図となります。本町の保幼小中一貫教育の理念を表しています。

続きまして、資料3をご覧ください。小中一貫教育を義務教育学校開校に向けて、これから様々な検討をしていかなければなりません。東西それぞれに開校準備委員会と6つの部会を立ち上げて検討準備を進めていきます。開校準備委員会のメンバーは、学校運営協議会の委員となります。標準服等検討部会、通学路等安全対策部会、PTA部会、総務部会、こちらの4つの部会につきましては、それぞれに学校運営協議会の委員の方に入っていていただき部会運営をしていただきたいと思います。

資料4をご覧ください。こちらは開校に向けた協議の流れについてですが、まず教育委員会事務局が協議事項についてそれぞれの部会へ提案をします。それを受けて各部会で調査や検討していただき、その内容を開校準備委員会の方へ報告していただきます。検討をしていきたいと考えております。資料5をご覧ください。各部会の開校までの大まかなスケジュールとなっています。今年度の通学路等安全対策部会それからPTA部会の動きにつきましては、こちらは東地区の部会の動きとなります。令和4年度からは、義務教育学校開校に向けて西地区の部会も動き出す予定です。こちらのスケジュールを目安にして開校までに課題が生じましたら、予定等を見直して準備を進めていきたいと考えています。

資料6は、4月21日にWebで開催した保幼小中合同研修会での初田先生の研修会の資料となります。

資料7は豊能の風です。お時間がある時にお読みください。

【こども育成課長】

3所園のことについて、2点ご説明させていただきます。

コロナウイルス感染の緊急事態宣言の延長を受けまして、6月に吉川保育料で予定しておりました運動会は、秋に延期になります。部長からの報告にもありましたが、校外活動を含む遠足、これも一庫公園に行くというのは取りやめ、近くの公園に行く等、工夫をして実施していただいております。

もう1点、明日、午後2時から「令和3年度豊能町子ども子育て審議会」の第1回目

を開催いたします。当初は中央公民館を予定しておりましたが、コロナの関係で、休館となりましたので、本庁第1、第2会議室で行います。今年度は5回開催する予定をしております。審議内容の中心は、西地区の吉川保育所と、ひかり幼稚園を統合し、認定こども園を整備することになります。

【生涯学習課長】

3点ご説明、報告をさせていただきたいと思います。

1点目は、コロナウイルスの関係です。部長からも説明ございましたけれども、4月25日から5月31日まで、生涯学習施設8施設それぞれ閉館しております。先週の緊急事態宣言延長を受けて、6月20日まですべて休館ということにさせていただいています。

2点目は、シーツスの指定管理についてですけれども、今年度でシーツスの指定管理が5年目を迎えます。来年度から新たに指定管理者を公募するという事になりますが、4月28日、5月26日に、庁内の検討部会を開催いたしました。ここで募集要項等を協議しまして、6月末ごろを予定しております指定管理の選定委員会で資料を提出して、進めていきたいと考えております。

3点目は、ユーベルロビーコンサート、お手元にチラシを配りしておりますけれども、これ6月開催ですけれども4月、5月は無観客でオンライン配信ということにさせていただきました。6月5日の開催分についても、無観客でオンライン配信という形で開催させていただくということを考えております。

【議長】

ただ今の各課からの説明に対しまして、質疑がございましたらお出し下さい。

【委員】

GIGAスクール構想で、今はWindowsだと思いますが、ワード、エクセルと確認ですけど、パワーポイントも入っていますか。

それから。タブレットの更新についてですが、先ほど6年間使うということを言われていましたが、この業界は1年とか3年で一昔になってしまうので、その更新については、何か予定があるのか、それとも全然更新せずに6年間とかあるいは9年間使うのですか。

【こども未来部理事（教育総務課長）】

タブレットの更新につきましては、現在、まだ財政措置がはっきりと示されておられません。委員のおっしゃるとおり、機器の更新のサイクルは早い。小学校に入学して、中学卒業まで9年間は恐らく使えないと思います。何度か更新をしていかないと最新の操作、或いはソフトについていけないと思っておりますが、導入したばかりですので、次

の財政措置までは、まだ明らかになっておりません。交付税措置と言いまして、一定額は標準的な経費として、財源措置されておりますけど、今回のように大掛かりな更新作業等では、その財源が足りないということで、今回補助金を国が用意したという形になっております。今後、その辺の財政措置が明らかになった上で、本町もそれに合わせて、更新できるのであれば更新していきたいと思っておりますが、ただ一般財源でこの額を定期的に更新するのは、財政負担が非常に大きいと思っております。

【委員】

おそらく今後は、レンタル方式になっていくかなと思いますので、そのような制度とか仕組みをぜひ検討していただきたい。

それから、ロビーコンサートの件ですが、そちらにも声が届いていると思いますけど、なかなか視聴が難しいという声を聞いています。視聴する人数がすごく少ない。もう一つ聞いたのは、課金制度になっていると思いますが、お金を振り込むとこまでなかなか行けない。という声をよく聞きます。無料で見てしまっ、お金払いたいけどできないとか、そもそも見るところまでいけないとか、その辺を改善していただきたい。私自身は、ちゃんと見られていますが、意見ですが、要望として、お金の設定が 200 円、300 円、500 円になっていたと思いますけど、ぜひ 1,000 円の設定をいれていただきたいと思っております。

【生涯学習課長】

操作が難しいという声は聴いております。初めて操作される方もたくさんいらっしゃる、ユーベルホールのホームページでも説明は詳しくさせていただいておりますが、操作わからない場合は、ユーベルホールにお問い合わせいただきましたら、ご説明させていただきます。今後もたくさんの方に視聴していただきたいと思っております。投げ銭の金額の件は、今後検討させていただきます。

【委員】

神戸に住んでいる私の両親が、開催ぎりぎりまでお電話させてもらって、すごく丁寧に教えていただきました。ありがたいことですが、そのような対応で電話回線が詰まってしまうのではと心配もありますが、何回線に対応されていますか。それとちょっと限界があるかなと思うので、もう少し簡単なやり方に移行された方がいいと思っております。

【生涯学習課長】

電話回線は 3 回線ありますが、一時に電話が集中すると、確かに繋がらないときもあると思っておりますので、やり方については検討させていただきます。

【議長】

私から少し補足をさせていただきます。

タブレットの更新、維持管理、或いはソフトについて、国が提示しました1台当たり45,000円では整備が難しいというようなことでしたので、5月に町長と2人で大阪府の橋本教育長にお会いし、整備したら終わりではなく、今後、国としての支援についてお願いしてきました。市町村の首長会議でも町長から提案されて、国への要望事項の中に財政的な支援をきちっと盛り込んでいこうということで、大阪府の教育長にもお願いしていくというようなことはお話していただきましたので、補足させていただきます。

【委員】

タブレットの件ですが、支援員さんは現在何名おられるのか教えていただきたい。

【義務教育課長】

現時点では、お1人です。2学期以降に学校の需要が増えてきた場合、2人体制で回っていただこうと思っております。業者側も人が集まらないので、これから公募すると聞いております。2人体制になりましたら、各校を回れると思っております。

【委員】

顔認証とは？

【生涯学習課長】

5月補正で要求しました、AI型の顔認証のタイプの体温測定器です。生涯学習課は5施設、西公民館、中央公民館、シートス、ユーベル、図書館というところで、不特定多数の方が集まるような施設に整備します。コロナワクチン接種が広まりますと、たくさんの方が集まる可能性が出てきます。現在、職員が手動式の体温計を使っていますが、それでは対応しきれない場合も出てくることを想定しまして、コロナの交付金を活用しまして顔認証型の体温測定を5台購入するものです。

【委員】

顔認証と聞こえたような気がしたので。

【こども未来部長】

顔認証というタイプの測定器です。

【委員】

タブレットをもうすでに小中学校に配置していただいているということで、よかった

と思っています。また2人の支援員が来ていただけるということで、そうなった時に、授業に入っていただく日とか、先生が質問できる放課後とかいう時間帯でうまくスケジュールを組んでいただけたらと思います。

【議長】

他に、ご意見等ございませんか。

そうしましたら、私の方から何点かご報告をさせていただきます。

今まで報告させていただいた部分と、重なる部分があるかも知れませんが、よろしくお願いたします。

まず1点目は、学力調査の件でございます。学力調査。今回、小学校6年生、中学3年生対象のこれまでと同じ「全国学力学習状況調査」ですが、昨年度は中止となっております。それから、大阪府教育庁の「すくすくウォッチ」につきましては、5、6年生を対象として新しく導入されたものでございます。それと、本町の「豊能チャレンジ」、これは小学校1年生から中学3年生まで全員を対象として、学力だけではなく、体力、そして心の問題、あるいは生活状況でこういうことを対象に実施をするというものでございます。「豊能チャレンジ」につきましても昨年度1月末に予定しておりましたが、コロナ禍のために、中止となったもので校長会と調整する中で、いつ実施をしようかというようなことでしたが、「同一日にしていただいた方がいいのではないか。」ということで、この全国学力学習状況調査の日に合わせて実施したものでございます。初めての、課題もありますので、それにつきましては今後、検証しながら改善して参りたいというふうに思っております。ただ、「豊能チャレンジ」につきましては、とりわけ、昨年度の当初に新型コロナウイルス感染防止により休校が続きましたし、変則的な教育課程になっておりますので本当に学力の定着度ですとか体力の伸びや課題、或いは心の問題、友人関係、また、生活状況がどうなっているかということもきちっと把握し分析して、子どもたち一人一人に合わせた支援の仕方、応援をしていかななくてはならないというふうに考えております。「豊能チャレンジ」につきましては、7月中旬に結果が返却される予定でございます。

それから、桃山学院教育大学のことにつきましては、先ほどご報告させていただいたことですが、6月17日に堺キャンパスで調印式が開催される予定です。これまで豊能地区3市2町それぞれの市町との教員採用等における連携協定大学は13大学ありましたが、今度、桃山学院教育大学も含めまして14大学となる予定でございます。また、本町とは独自に教育に関する連携協定をそのあと結ばさせていただきます。それにつきましては、保幼小中一貫教育、共同研究、グローバル人材育成を目指しての保育所幼稚園からの英語活動。それから、現職教員の研修、また、教育実習生の受け入れ、或いはスクールサポーターの派遣など、今後、いろんな形で調整を進めてまいりたいと思っております。具体的には、英語活動につきましては、専門にやっておられる安井教

授に来ていただいて、どのように進めるか打合せを始めたところでございます。

また、保育所幼稚園等にも実際に行っていて、いろいろ調整しながら先生方とも意見交換しながら進める予定をいたしております。

もう一点、4月の最終週に子どもたちの登校の見守り活動に参加いただきました教育委員の皆さん、本当にありがとうございました。議員の皆さんはじめ、民生委員さん、地域の皆さん豊能警察などたくさんの方に早朝から子どもたちの様子、また、放課後の様子、下校の様子を見守っていただいております。今後ともお時間ありましたら、子どもたちの様子を見守っていただき子どもたち、そして、お世話になった方々にもお声掛けいただけたらと思います。

なお、見守り隊の旗と帽子をお帰りの際にお渡しする準備をいたしておりますので、よろしく願いいたします。

もう1点、教職員の説明会ですけれども、4月21日にソフト面の全体研修を予定しておったものが、これは初田先生の研修ですが、教育委員さんも入っていただいて、Zoomの方でお聞きをいただきました。初田先生に90分お話をしていただいた内容は、保幼小中一貫教育につきまして、これまでの実践をもとにお話しいただきました。今後は、東能勢小学校体育館、教室を使って全体研修をやる予定でしたが、緊急事態宣言が出されてできませんでした。今後、それぞれの学校に出向きまして、学校ごとに説明会を実施するという形に切り換えております。ソフト面とハード面をあわせて説明会を実施するものでございます。

【議長】

他に、ご意見等ございませんか。

以上をもちまして、令和3年度第2回豊能町教育委員会（5月定例会）を閉会いたします。

どうも本日はお疲れ様でございました。

閉会時間；10時17分

以上、会議の次第を記し、これを称するためにここに署名する。

令和 年 月 日 署名

豊能町教育長

会議録署名人